TUTScheme の利用

京都大学情報学研究科 通信情報システム専攻 湯淺研究室 D1 平石 拓 2005/10/18

Scheme

- Scheme
 - □ Lispの方言の一つ (cf. Common Lisp, Emacs Lisp)
 - □ リスト処理
 - □ 対話環境・・・デバッグがしやすい
 - □ 小さい<u>言語仕様(50ページ)</u>. 高い拡張性.
 - C(C99)は538ページ
 - Common Lisp(第2版)は1029ページ
 - □ GC(ごみ集め)
 - □ 継続オブジェクト
 - o . . .

TUTScheme

- Schemeの実装の1つ.
 - □ 湯淺先生, 小宮先生(豊橋技科大)開発
 - □ 利用手段
 - メディアセンターの端末
 - http://www.pro.ics.tut.ac.jp/~komiya/download/から入手
 - □ Windows(Cygwin版もあり)
 - Mac OS X
 - □ RedHat Linux

		_
		_

変数定義(2):局所的な変数

```
SC> (let ((x 10)
	(y 20))
	(* x (+ x y)))
300
SC> x
Error: x is an unbound symbol.
...
```

関数定義(1)

```
SC> (define (square x) (* x x))
square
SC> (square 10)
100
SC> (square (* 3 4))
144
```

関数定義(2)

■ n! を求める関数

記号(1) ■ (quote〈記号〉)・・・スペシャル・フォーム SC> (quote x) SC> (quote cat) SC> (define x (quote y)) SC>xy 記号(2) ■ '〈記号〉でも同じ意味 SC>'xSC> cat SC> (define x 'y) SC>xy リスト(1) ■ Lispにおける最も重要なデータ型の1つ ■ データ(要素)の"並び"を表す (1 2 3 4 5 6 7 8 9 10)

(we eat rice)((a b c) x y (1 2))

など。

リスト(3)

リストの要素がわかっている場合は、 (quote 〈記号〉) でもよい。

SC> '(x y) (quote (x y)) と同じ (x y)

SC> '((x y) 1 2 (a b c)) ((x y) 1 2 (a b c))

SC> '(define (square x) (* x x))

(define (square x) (* x x))

リストを扱う関数(car, cdr)

リストを扱う関数(cons)

■ リストの先頭に要素を追加

SC> (cons 'we '(eat rice))

(we eat rice)

SC> (cons 'never (cdr '(we eat rice)))

(never eat rice)

SC> (cons '(a b c) '(x y z))

((a b c) x y z)

SC> (cons 'single '())

(single)

リスト処理関数の定義例

SC> (my-length ' (a b c d))

4

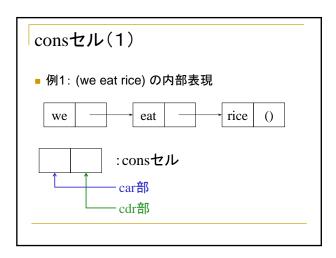
式の評価

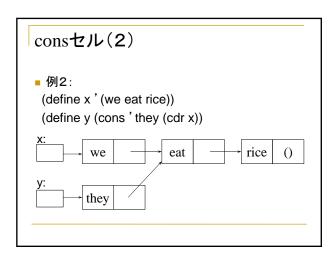
(+ (* 3 2) 5) や (define x 30) なども、それ自身は 単なるリスト。

SC> (list '+ (list '* 3 2) 5) (+ (* 3 2) 5)

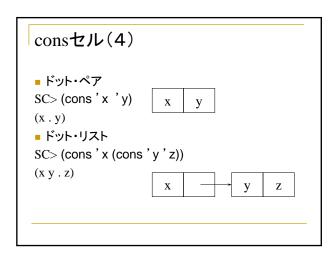
- □ システムがこのリストを「評価」すると、"関数呼び出し式"として処理を行い、値を返す。
- システムが評価できるデータを「フォーム」という。
- フォームでないデータを評価しようとすると、エラーになる。

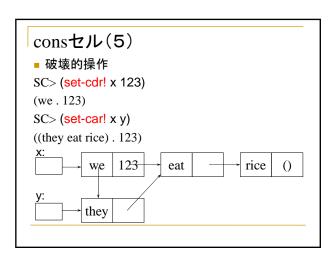
フォームの分類(1) ■ リスト・フォーム □ 関数適用 · · · (〈関数〉〈式1〉...〈式n〉) 1. 〈関数〉と〈式1〉~〈式n〉を評価 2 関数を〈式1〉~〈式n〉の評価結果に適用 スペシャル・フォーム define, set!, quote, if など特定の記号で始まるリスト □ それぞれのスペシャルフォームごとに決まった評価方法 (関数適用とは違う) □ マクロ・フォーム □ マクロを表す記号で始まるリスト(詳細は省略) フォームの分類(2) ■ 記号 □ 変数の値が評価値になる SC> (define x 30) SC> x SC>+ #<function +> フォームの分類(3) その他のデータ □ 数値や文字列などは、それ自身が評価値となる SC> 123 123 SC> "abcde" "abcde"





consセル(3	3)
■ (cons〈データ car部とcdr部が であるコンス・デ SC> (cons ' rice	それぞれ〈データ1〉,〈データ2〉 ゚ータを返す。
(rice)	
SC> (cons 'eat	(cons 'rice '()))
(eat rice)	
SC> (cons 'we	(cons 'eat (cons 'rice '())))
(we eat rice)	





入出力関数(1)
	, システムの出力(評価値) write関数の出力
(a b c)	write関数の出力
#t	システムの出力(評価値)

144

入出力関数(3) ■ 入力関数 SC> (read) abcde (キーボードから入力) abcde システムの出力(評価値) SC> (begin (display "input: ") (fact (read))) input: 11 (キーボードから入力) 39916800 (プロンプト)

```
ファイル入出力(1)

SC> (define out (open-output-file "outfile"))
out
SC> out
#<port to outfile>
SC> (write (fact 7) out) ------ (fact 7)の結果を"outfile"に書き込む
5040
SC> (newline out)
#t
SC> (close-output-port out)
#t
```

ファイル入出力(2)

SC> (define in (open-input-file "infile"))
in
SC> (read in) "infile"からデータを1つ読み込む
data
SC> (read in)
#<end-of-file> "ファイルの終端に達した場合
SC> (close-input-port in)
#t

ファイル入出力(3)

- (call-with-output-file 〈ファイル名〉〈関数〉):
 指定されたファイルへの出力ポートを引数として 〈関数〉を呼び出し、その返り値を返す。
- (call-with-input-file 〈ファイル名〉〈関数〉):
 指定されたファイルへの入力ポートを引数として 〈関数〉を呼び出し、その返り値を返す。
- >〈関数〉は1引数でなければならない。
- > 実行終了後、ファイルは自動的に閉じられる。

ファイル入出力(4)

■ 例:1², 2², ..., 99² の値をファイルに書き出す。 (call-with-output-file "square99" (lambda (out) (do ((n 1 (+ 1 n))) ((>= n 100)) (write (* n n) out) (newline out))))

ファイル入出力(5)

■ 例:ファイルから全てのデータを順に読み込んで 画面に表示する。

(call-with-input-file "infile"
 (lambda (in)
 (do ((dat (read in) (read in))))
 ((eof-object? dat))
 (write dat)
 (newline))))

プログラム・ファイル

(load 〈ファイル名〉):ファイルに書かれているフォームを順に、全て評価する。

SC> (load "square.scm")

Loading square.scm...

Finished.

"square.scm"

SC> (square 4)

16

関数実行のトレース

- (trace 〈関数名〉): 関数のトレースを開始
- (untrace 〈関数名〉):トレースをやめる

標準ではないが、たいていの処理系で使える.

関数実行のトレース(使用例) SC> (trace fact) SC> (fact 2) 1>(fact 2) 2>(fact 1) |3>(fact 0) |3<(fact 1) 2<(fact 1) 1<(fact 2) 2 代表的な組み込み関数(数値) ■加減乗除 □ (+〈数値1〉...〈数値n〉) □ (+ (数値1) ... (数値n)) □ (* (数値1) ... (数値n)) □ (/ (数値1) ... (数値n)) □ (/ (数値1) ... (数値n)) □ (remainder (整数1) (整数2)) :割り算の余り (cf. modulo) ■ 比較 □ (=〈数値1〉...〈数値n〉) - (< (数値 1) ... (数値 n)) - (< (数値 1) ... (数値 n)) - (<= (数値 1) ... (数値 n)) - (>= (数値 1) ... (数値 n)) 代表的な組み込み関数(リスト) □ (length ⟨リスト⟩) □ (append ⟨リスト1⟩ ... ⟨リストn⟩) □ (reverse ⟨リスト⟩)

代表的な組み込み関数 (等号・論理演算) 等号 □ (eq?⟨データ1⟩⟨データ2⟩) □ (eqv?〈データ1〉〈データ2〉) □ (equal?〈データ1〉〈データ2〉) 論理演算 □ (not 〈データ1〉) □ (and 〈データ1〉...〈データn〉) 【特殊フォーム】 □ (or 〈データ1〉...〈データn〉) 【特殊フォーム】 代表的な組み込み関数(データ型述 語) □ (number?〈データ〉) □ (integer?〈データ〉) □ (symbol? 〈データ〉) □ (pair?〈データ〉) □ (list? 〈データ〉) □ (null? 〈データ〉) □ (string? 〈データ〉) その他の組み込み関数 ■ ヘルプ機能(tus, guileなど) □ (apropos 〈文字列〉):〈文字列〉を含む組み込み関数、 スペシャルフォーム、マクロの一覧を表示する.

レポートについて ソースコードは手書き厳禁! ■ 適当なところで改行. インデント(emacs推奨). コメント(';'を使う)もできるだけつけること. (define (square x) (write (list 'x x)) (newline) (* x x)) レポートについて ■ ソースコードは手書き厳禁! ■ 適当なところで改行. インデント(emacs推奨). ■ コメント(';'を使う)もできるだけつけること. O (define (square x) (write (list 'x x)) ; 追加 (newline) (* x x)) (参考)「TUTSchemeのマニュアル」 今回扱わなかった関数等の説明。 $\underline{http://www.yuasa.kuis.kyoto-u.ac.jp/\sim\!komiya/tus-man/tus/}$ http://winnie.kuis.kyoto-u.ac.jp/~okuno/Lecture/05/IntroAlgDs/